

会報

1973

1月

(第4号)

財団法人 京都市文化観光資源保護財団

京都市左京区岡崎最勝寺町13

京都都会館内

(電) 京都(075) 761-0020

賀正



雅楽

〔雅楽〕

今日、わが国で演奏されている雅楽は、およそ千四、五百年前、朝鮮及び中国、印度から伝来した器楽曲及び舞楽と、これら外来楽にもとづいて作られた歌曲と、わが国で上代から伝えられてきた固有の歌舞があり、平安時代を通じて宮中の諸儀式や饗宴などにもいられたほか社寺の祭典、法要等にもしばしば奏された。

奈良時代から平安時代にかけて最盛期をむかえた雅楽も、その後一時衰退したが桃山時代以降朝廷や幕府の保護により再び盛んになり、現在に継承されている。

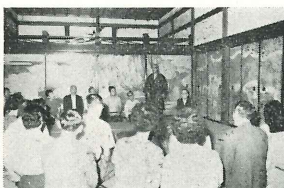
今日、わが国の雅楽は、昭和30年、国の重要無形文化財(団体の部)に指定されている宮内庁式部職業楽部のほか、伊勢神宮、春日大社、大阪の四天王寺など各地でおこなわれている。京都では平安雅楽会、京都舞楽会の活動がよく知られており、毎年秋には「雅楽の夕」を催して好評をくしている。

〈京の年中行事より〉

- | | | |
|----|--|--------|
| 19 | 千本釈迦念仏 (おかめ踊) | 千本釈迦堂 |
| 15 | 涅槃会・お松明式
(お松明式は午後七時) | 清涼寺 |
| 14 | 泉涌寺涅槃会
(午前九時) | 泉涌寺 |
| 14 | 東福寺涅槃会
(午前九時) | 東福寺 |
| 25 | 梅花祭
(午前十時) | 北野天満宮 |
| 24 | さんやれ祭 (正午頃より) | 上賀茂神社 |
| 23 | 五大力尊仁王会 (午前十時) | 醍醐寺 |
| 4 | ~
(吉田神社) | 市内各社寺 |
| 2 | 節分会
(壬生寺、千本釈迦堂、
嵐山寺、六波羅蜜寺、
聖護院、他) | 市内各社寺 |
| 15 | 七福神めぐり
(午前七時) | 泉涌寺 |
| 15 | 通し矢
(午前八時) | 三十三間堂 |
| 14 | 裸踊り
(午後七時) | 法界寺 |
| 10 | 十日ゑびす
(午後二時) | ゑびす神社 |
| 5 | 大山祭
(正午) | 伏見稲荷大社 |
| 5 | 新年寛宴
(午後三時半) | 上賀茂神社 |
| 5 | 新年寛宴
(午後一時) | 下鴨神社 |

東福寺(普門院)・退耕庵 の特別参観終了

東福寺とその塔頭の特別参観は九月九日(土)約三十名の参加者のもとで行なわれ、普門院では土居次義京都工芸繊維大名養教授の解説で江戸初期の豪華な襖絵六十面をはじめ、庭園、開山堂などを中心とした鑑賞した。また、退耕庵ではくつろいだ雰囲気の中で五十部住職のご案内で小町地蔵、庭園、茶室などを鑑賞した。



退耕庵の特別参観の様子。参加者は約三十名、江戸初期の豪華な襖絵六十面をはじめ、庭園、開山堂などを中心とした鑑賞した。

第4回特別参観ご案内

泉涌寺とその塔頭(雲竜院・即成院)

古く皇室の菩提寺として知られる大本山泉涌寺とその塔頭、雲竜院と即成院の特別参観を行います。今回は泉涌寺において歴代皇室の尊牌を奉安する霊明殿を特別に公開していただくほか雲竜院では龍華殿(重文)や仏像を、即成院では二十五菩薩(重文)など一般によく知られていない貴重な文化財を拝観します。是非ご参加下さい。

◆参観日時 昭和四十八年三月三日(土)午後二時(参観時間二時間)

◆対象者 財団募金協力者(会員)とその家族

◆申込方法 往復ハガキ一人一枚に住所、氏名、年令を記入。三月一日までに必着のこと。

◆申込先 〒606京都市左京区岡崎最勝寺町京都都会館内 京都市文化観光資源保護課財団宛

(電七六一〇〇二〇)

◆会費 二〇〇円(当日受付で徴収)

ご協力ありがとうございました

ごさいました

寄附者芳名録(敬称略)

(自昭和四十七・十八至昭和四十七・十二)

※印は追加寄附をいただいて累計額が増加した芳名

会社法人及び団体の部

〔特別会員〕

△一千万円 佛日立製作所・三菱商事佛・三井物産佛

△六百万円 三菱電機佛

△五百万円 佛高島屋・※妙法院・※西芳寺・※鹿苑寺・※慈照寺・※竜安寺・※清水寺

△三百五十万円 武田薬品工業佛

△三百万円 武田薬品工業佛

※中央信託銀行佛・※日本信託銀行

△四十二万円 萬有製薬佛

△三十四万円 山之内製薬佛

△三十万円 山之内製薬佛

佛・※天竜寺・※仁和寺

△二百万円 佛丸物・伏見稲荷大社

△百五十万円 塩野義製薬佛

△百二十万円 田辺製薬佛

△百十万円 藤沢薬品工業佛

△百万円 佛日本不動産銀行・京都交通グループ・妙心寺・教王護国寺・松尾大社

△五十五万円 大日本製薬佛

△五十万円 佛京都グランドホテル・日本化薬佛

△四十万円 賀茂別雷神社・安田多七佛

〔普通会員〕

△四十八万円 三共佛

△四十二万円 萬有製薬佛

△三十四万円 山之内製薬佛

△三十万円 山之内製薬佛

佛千総・佛堀江

△二十八万円 第一製薬佛・エーザイ佛

△二十五万円 小野薬品工業佛

△十五万円 吉祥院食糧佛

△十四万円 中外製薬佛

△十二万円 佛丸物・佛中級商店・富長佛・国領

△十万円 佛丸松・佛山喜商店・やまと佛・佛山田商店・増田佛・古川健織維佛

△八万円 佛森茂・丸八佛・野村万佛・山新久

△六万円 佛保村・山中佛・丸福商事佛・仲野

△四万円 佛商事佛・井登美佛・森治佛・中村佛

△三万円 佛国藤・佛森孝・ムーンプット佛

〔賛助員〕

△十万円未満

佛興太呂・佛宝屋・松田佛・帝興佛

佛とくや・下川佛・佛安田商店・佛

佛伴戸商店・タキカ佛・中山佛・佛

佛麗正・北昌佛・興和商事佛・第一

佛服研佛・塚本義佛・高田勝佛・佛畑

佛中・佛松屋呉服・佛三星・佛中山広

佛商店・さくら立休駐車場佛・佛日産

佛大京衣料佛・日貢染織佛・佛出路

佛井石油・山田織維佛・佛松原商店・佛

佛井石油・春江佛・美吉商事佛・佛丸

佛七宝佛・丸重佛・佛研儀・佛古荘商

佛店・鳥居薬品佛・吉川商事佛・佛正

佛木・佛ジョエル・中喜佛・長谷勝佛

佛商事佛・成田佛・平井佛・丸高佛・小杉

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

佛商事佛

〔普通会員〕 辻井スエ

△四万五千円

※竹村 實

〔賛助員〕

△二万円未満

※布施眞之助・※安井和久・たつ・

※水口英子・※浅田浅子・※福井忠

明・※伊藤ナツエ・※五島要津・※

寺田ひさ・※久保川章雄・※豊島正・

※岡本保正・※徳井虎蔵・※左近真

二・※左近智恵子・※堀きく枝・※

奥村操・三原武夫・文子・※今井栄

孝三・※西村弥五郎・※後藤齊・矢野

林克彦・※中重左衛門・※土屋祐一

※有光紀子・※井田喜知郎・田村

芳子・※田村彰敏・※田中正男

〔編集後記〕

新年おめでとうございます。京都の文化遺産を守るため設立された当財団も今年で早くも四年目をむかえ、募金も八億五千万円を突破し、目標十億円達成まであと一息になりましたことを皆さまに心からお礼申し上げます。しかし、さ

る十二月行なわれました財団設立三周年記念式で、佐伯理事長が「百里の道を行かんとするものは、九十里を以て半とすべし。」といわれた

ように、あと一歩がなかなかでありませんが、皆様方の一層のご協力により、今年こそ目標達成の年としたいものであります。

当会報も創刊以来一年となり、まだまだ不十分ながらもようやく第四号をお届けすることができました。

会報は会員の皆様方のものです。今年もより一層のご支援をいただき

ますとともに、ご意見をのしだしお寄せ下さい。なお、住所変更等がござ

いましたら、ご一報下さるようお願いいたします。

個人部

〔特別会員〕

△百万円 中井勝治

△二十万円 砂利彦

△十万円 村上道枝

※三原八之助・※池田信太郎・※伊

上道枝

個人部

〔特別会員〕

△百万円 中井勝治

△二十万円 砂利彦

△十万円 村上道枝

※三原八之助・※池田信太郎・※伊

上道枝

個人部